



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月28日

上場会社名 アサガミ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9311 URL https://www.asagami.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村健一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 秋山卓也 (TEL) 03-6880-2200
 四半期報告書提出予定日 2022年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	16,868	0.4	△47	—	70	△81.0	△328	—
2022年3月期第2四半期	16,801	15.7	237	—	370	—	△259	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △384百万円(—%) 2022年3月期第2四半期 △215百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△232.09	—
2022年3月期第2四半期	△183.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	48,908	17,609	35.7
2022年3月期	46,664	18,164	38.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 17,483百万円 2022年3月期 18,039百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	120.00	120.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において3月31日又は9月30日を配当基準日と定めておりますが、2023年3月期について、9月30日を基準日とする配当は無配、3月31日を基準日とする配当については未定としております。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	40,236	△3.1	1,332	△32.8	1,382	△36.0	832	△34.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	1,418,000株	2022年3月期	1,418,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	3,217株	2022年3月期	3,192株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	1,414,800株	2022年3月期2Q	1,414,808株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の新たな変異株による感染拡大が収束に向かい、経済活動の再開に向けた動きが見られつつあります。しかしながら、感染症再拡大の懸念は残り、ウクライナ情勢や為替の影響により物価が上昇しているため、依然として先行きは不透明な状況となっております。

物流業界では、燃料価格の高止まりによるコスト圧迫やドライバー不足の長期化により、厳しい経営環境が続いております。不動産業界では、首都圏の大型物流施設およびオフィスの空室率が高い水準で横ばいとなっております。印刷業界の婚礼分野では、新型コロナウイルス感染症の影響により開催規模が縮小されており、新聞分野についても、発行部数の減少傾向が継続する等、依然として厳しい状況が続いております。

このような経営環境に対応すべく、当社グループは、原点である経営理念の「顧客に対する最高のサービス」、「適正利潤の追求」、「真に働きがいのある会社」に立ち返り、取り組みを行ってまいりました。

これらの結果、物流事業において鉄スクラップの海外相場下落や原料価格の高騰の影響により製鉄関連作業量が減少した一方、建設機械関連の輸送量の増加や、印刷事業における婚礼印刷の受注件数が回復傾向を示したこと等により、当第2四半期連結累計期間における売上高は16,868百万円（前年同四半期比0.4%増）、燃油価格の高騰に伴うコストの増加や営業展開に係る諸活動の自粛緩和に伴う販売費及び一般管理費の増加等が起因し営業損失は47百万円（前年同四半期は営業利益237百万円）、経常利益は70百万円（前年同四半期比81.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は328百万円（前年同四半期は四半期純損失259百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は前連結会計年度末に比べ2,243百万円増加し、48,908百万円となりました。これは主に、商品及び製品が198百万円、年賀印刷事業の葉書仕入等における原材料及び貯蔵品が2,735百万円、流動資産のその他に含まれる前渡金が246百万円、未収消費税等が200百万円増加した一方、現金及び預金が858百万円、電子記録債権が160百万円、設備投資による建設仮勘定が260百万円あるものの減価償却等により有形固定資産が83百万円、公開買い付けに応じ政策保有株式の一部を売却したこと等により投資有価証券が123百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,798百万円増加し、31,298百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が285百万円、年賀印刷事業における短期借入金が2,993百万円、流動負債のその他に含まれる未払金が100百万円増加した一方、流動負債のその他に含まれる未払消費税等が106百万円、長期借入金が429百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ554百万円減少し、17,609百万円となり、自己資本比率は35.7%となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失328百万円を計上したことに加え、配当金の支払等により利益剰余金が498百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

1. 2023年3月期第2四半期連結業績予想と実績との差異

(2022年4月1日～2022年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	16,269	△537	△482	△832	円 銭 △588.20
実績(B)	16,868	△47	70	△328	△232.09
増減額(B-A)	598	490	552	503	—
増減率(%)	3.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	16,801	237	370	△259	△183.08

2. 差異の理由

当第2四半期は、業績に対して新型コロナウイルス感染症拡大の影響が緩和され回復傾向にあります。

物流事業においては、停滞していた荷動きが徐々に活発化を見せ、特に建設機械関連の輸送量が増加となりました。また、印刷事業の婚礼印刷においても、受注件数が回復傾向を示しております。これらにより売上高は598百万円の増加となりました。加えて、車両等固定資産の修繕が調達等の事情により上期に実施できなかったことや、採用人数が計画に満たなかったため人件費が抑制されたこと等が影響し、2022年5月13日発表の第2四半期連結業績予想との営業利益以下の各段階利益について、上記の通り差異が生じました。

なお、2023年3月期通期連結業績予想につきましては、2022年5月13日に発表いたしました業績予想からの変更はありません。しかしながら、今後の業績動向を踏まえ、連結業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,698,171	5,839,284
受取手形、売掛金及び契約資産	4,645,953	4,682,598
電子記録債権	1,180,582	1,020,350
商品及び製品	52,130	250,871
仕掛品	5,014	32,174
原材料及び貯蔵品	870,123	3,605,843
その他	806,144	1,311,054
貸倒引当金	△12,509	△12,177
流動資産合計	14,245,611	16,730,000
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,982,048	5,718,014
機械装置及び運搬具（純額）	1,548,480	1,474,621
土地	17,135,617	17,135,617
その他（純額）	662,256	916,796
有形固定資産合計	25,328,402	25,245,049
無形固定資産		
借地権	1,113,556	1,113,556
その他	626,776	606,127
無形固定資産合計	1,740,333	1,719,683
投資その他の資産		
投資有価証券	1,866,174	1,742,720
長期貸付金	558,526	536,148
繰延税金資産	992,635	989,706
退職給付に係る資産	80,426	76,907
その他	1,868,308	1,883,361
貸倒引当金	△15,445	△14,699
投資その他の資産合計	5,350,625	5,214,146
固定資産合計	32,419,360	32,178,879
資産合計	46,664,971	48,908,880

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,083,377	3,368,615
電子記録債務	762,951	690,003
短期借入金	5,268,277	8,262,136
未払法人税等	494,608	467,081
賞与引当金	396,549	392,871
その他	2,071,095	2,088,956
流動負債合計	12,076,859	15,269,664
固定負債		
長期借入金	10,014,886	9,585,196
繰延税金負債	17,483	17,230
再評価に係る繰延税金負債	2,542,865	2,542,865
役員退職慰労引当金	1,385,887	1,393,730
退職給付に係る負債	1,461,823	1,498,607
長期預り金	799,369	807,834
その他	201,245	183,824
固定負債合計	16,423,560	16,029,289
負債合計	28,500,420	31,298,953
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,189,000	2,189,000
資本剰余金	32,425	32,425
利益剰余金	9,824,105	9,325,968
自己株式	△11,930	△12,036
株主資本合計	12,033,600	11,535,357
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	399,641	347,722
土地再評価差額金	5,573,222	5,573,222
退職給付に係る調整累計額	33,057	27,571
その他の包括利益累計額合計	6,005,922	5,948,516
非支配株主持分	125,028	126,052
純資産合計	18,164,551	17,609,926
負債純資産合計	46,664,971	48,908,880

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	16,801,346	16,868,012
売上原価	13,818,564	14,052,199
売上総利益	2,982,782	2,815,813
販売費及び一般管理費		
役員報酬	231,841	229,919
給料手当及び賞与	825,500	848,085
賞与引当金繰入額	108,537	114,844
退職給付費用	27,063	27,886
役員退職慰労引当金繰入額	33,154	39,092
その他	1,518,831	1,603,724
販売費及び一般管理費合計	2,744,929	2,863,552
営業利益又は営業損失(△)	237,852	△47,739
営業外収益		
受取利息	8,985	8,288
受取配当金	37,571	36,820
貸倒引当金戻入額	13,784	388
受取賞品	40,243	43,342
その他	96,019	82,038
営業外収益合計	196,603	170,878
営業外費用		
支払利息	57,689	48,460
その他	6,692	4,517
営業外費用合計	64,381	52,977
経常利益	370,074	70,161
特別利益		
固定資産売却益	1,985	117
投資有価証券売却益	—	110,253
特別利益合計	1,985	110,370
特別損失		
固定資産売却損	9,201	—
固定資産除却損	2,796	19,734
投資有価証券売却損	683	—
投資有価証券評価損	—	2,304
特別損失合計	12,681	22,039
税金等調整前四半期純利益	359,378	158,492
法人税、住民税及び事業税	569,780	454,148
法人税等調整額	50,080	31,681
法人税等合計	619,861	485,829
四半期純損失(△)	△260,482	△327,337
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,463	1,023
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△259,019	△328,360

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△260,482	△327,337
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50,055	△51,919
退職給付に係る調整額	△5,186	△5,486
その他の包括利益合計	44,868	△57,405
四半期包括利益	△215,613	△384,742
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△214,150	△385,766
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,463	1,023

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。